行政書士のための
図面の見方・基礎知識

開発許可申請で目にする測量・計画図面の入門ガイド



はじめに

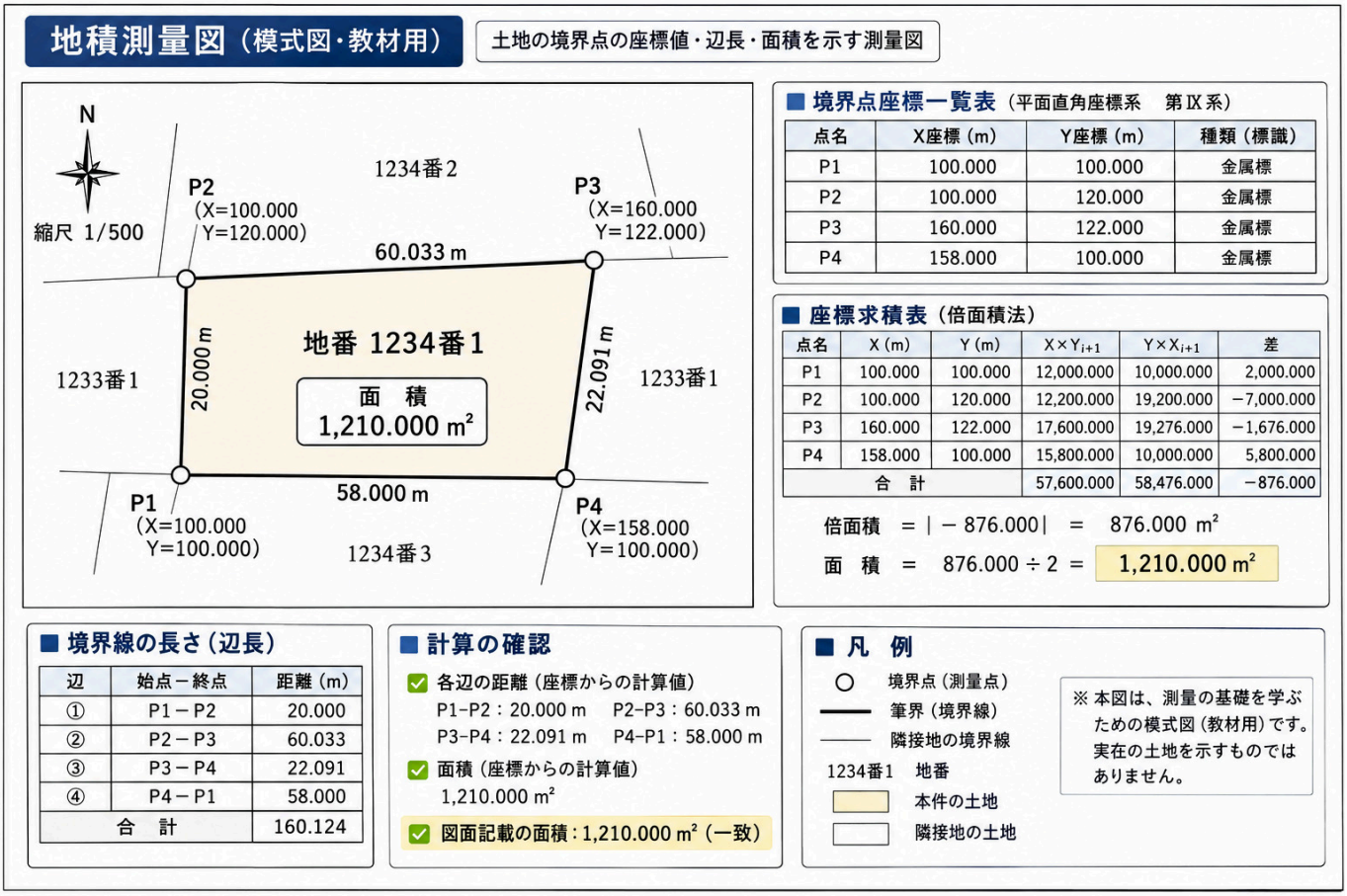
同じ敷地でも、図面によって読み取れる情報は異なります。この資料では、各図面が何を表し、どこから見ればよいかを図解で紹介します。

掲載図は読み方を学ぶための個別の例です。手元の申請図面を読むときは、同じ敷地の図面同士を見比べてみてください。

CDIキャリアスクール　あべちゃん先生

地積測量図

土地の形と面積を確認する



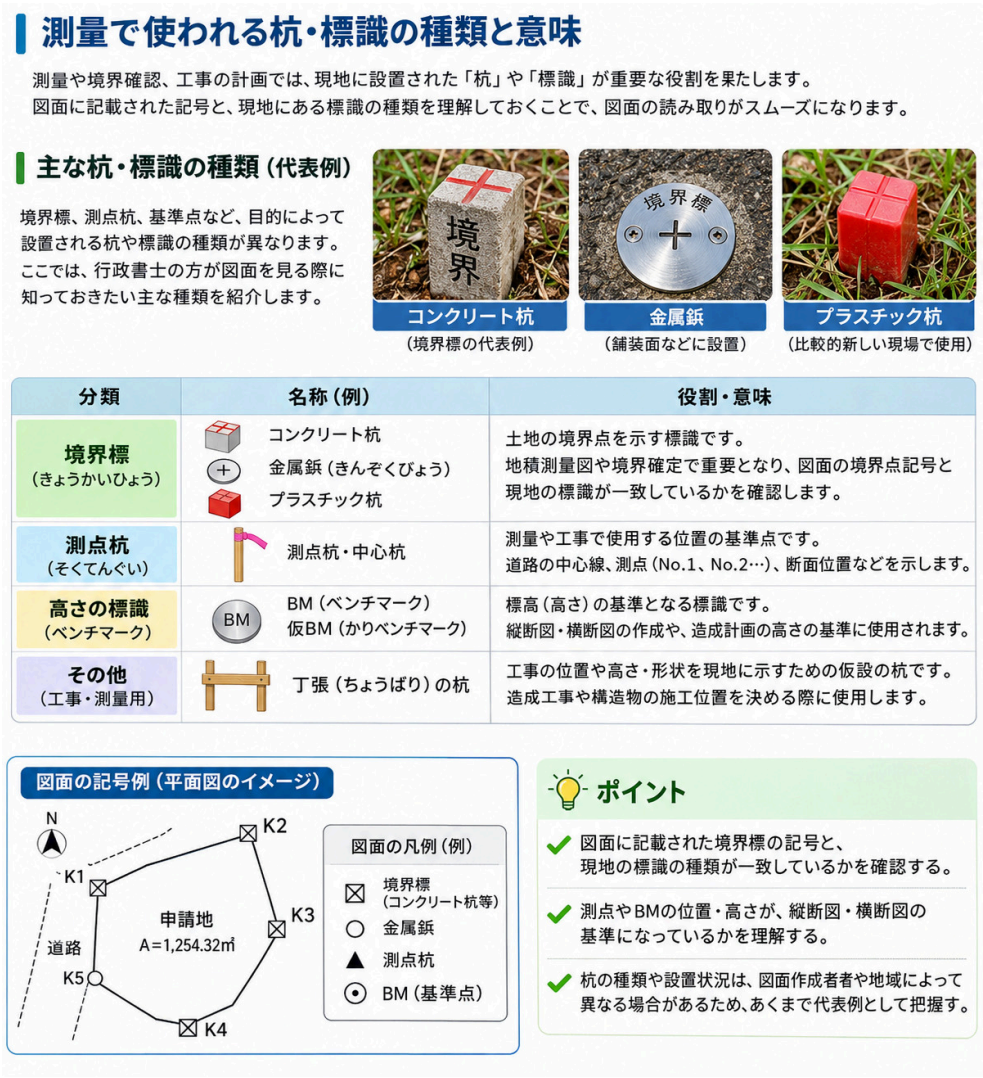
地積測量図では、土地の形や境界点、地積（面積）などを確認できます。まず対象の地番を見つけ、図上でどの範囲を示しているかを確かめましょう。

まず見るところ

対象地番と境界点の記号に注目します。座標表があるときは、図中の点名と表の点名を照らし合わせます。境界標の記号は、次のページの図解も参考にしてください。

測量杭・標識

現地の目印と図面の記号を結び付ける



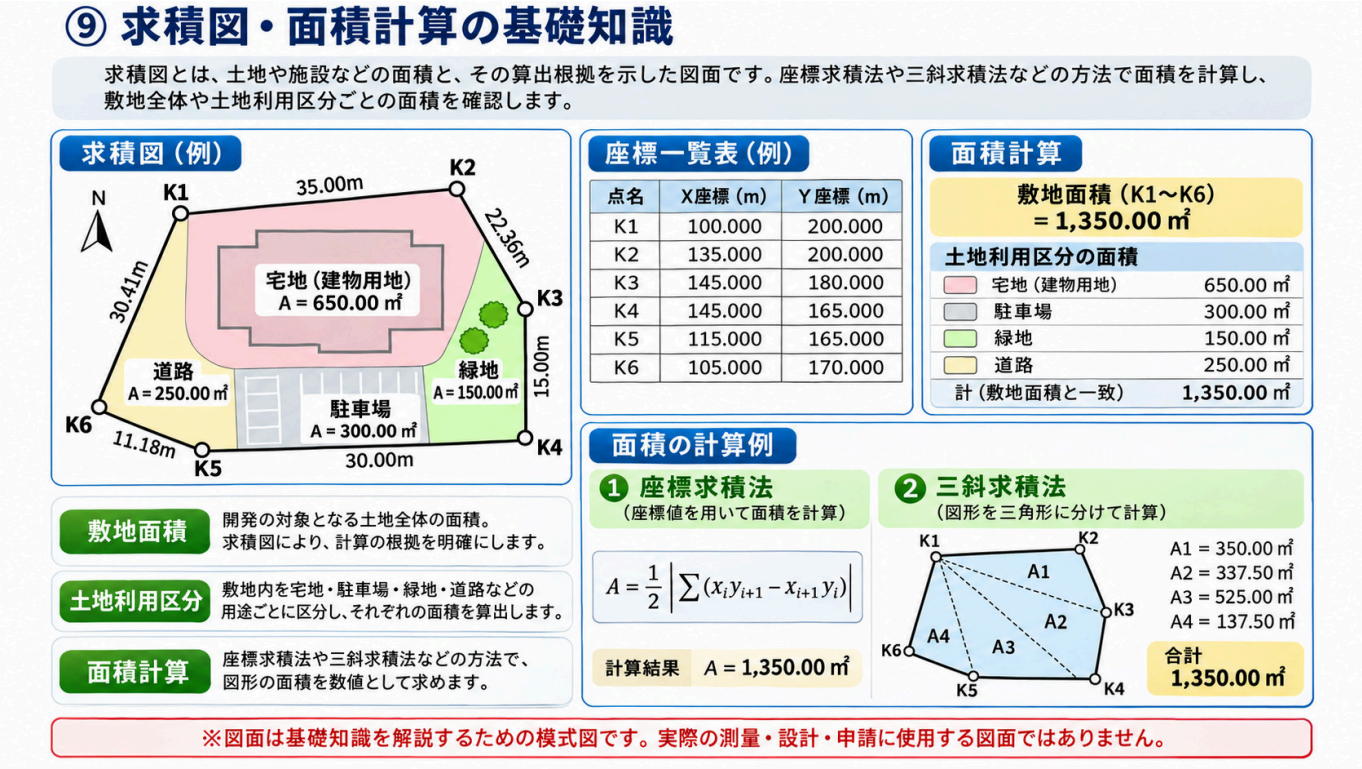
図面に境界標の種類が書かれているときは、点名や記号を手掛かりに、現地の目印と図面を照らし合わせます。図解には、境界を示す標識や、測量の基準となる点の例が載っています。

まず見るところ

凡例で、その印が何を示すかを確認します。杭や鋲などの材質・形だけで判断せず、点名と位置も照らし合わせます。

求積図

どの範囲を、どう計算したかを見る



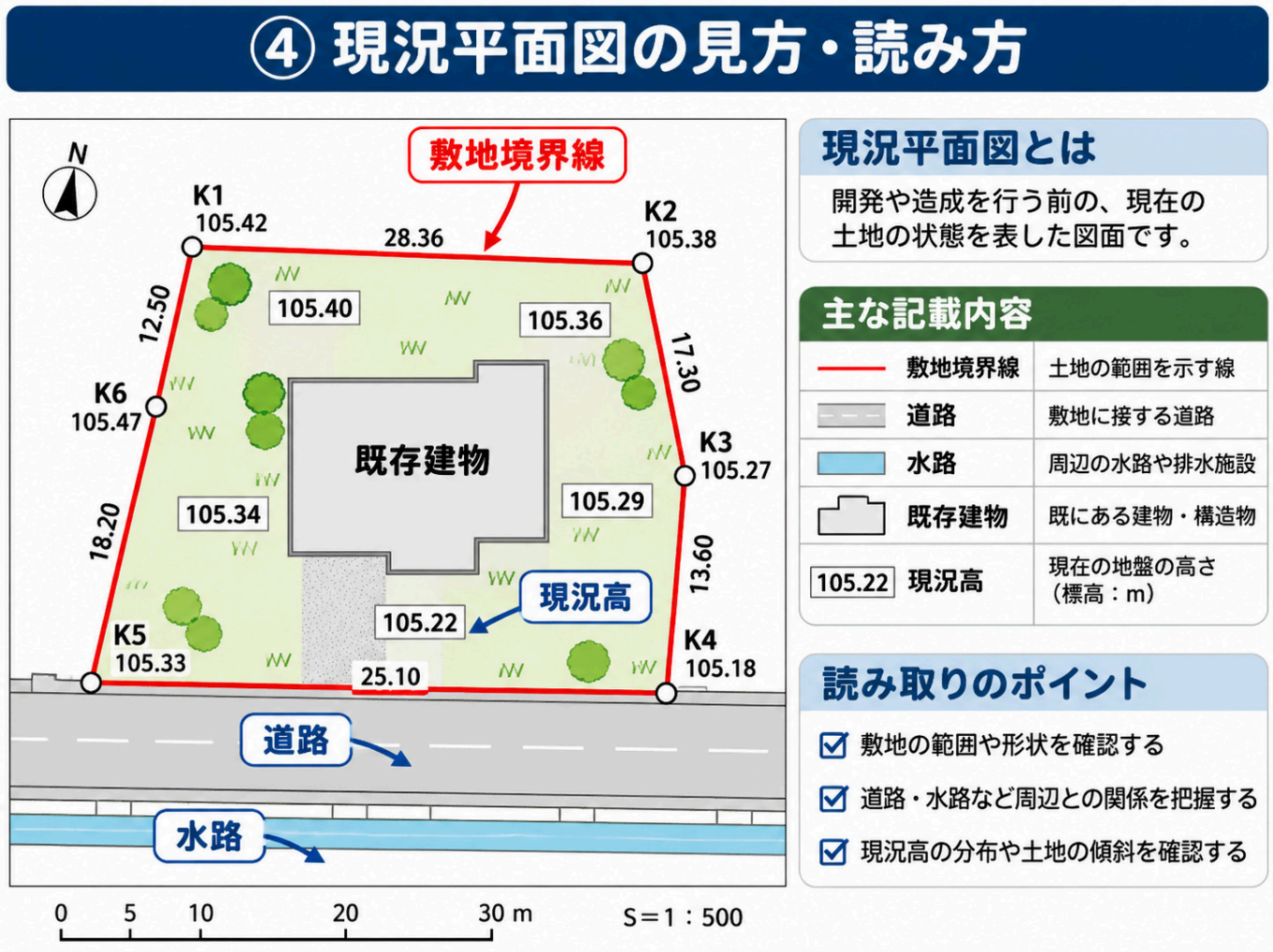
求積図は、面積を求めた範囲と、その計算の根拠を示す図です。三角形などに分けて求める方法や、境界点の座標から求める方法があります。

まず見るところ

求積の対象範囲と、求積表の合計面積を見ます。図と表に同じ番号が付いている場合は、表の数字が図のどの部分に対応するかを追ってみましょう。

現況平面図

工事前の敷地を上から見る



現況平面図は、測量時点の敷地や周辺の状況を上から見た図です。既存の建物、道路、水路などの位置を確認できます。標高の記載があれば、敷地内の高い場所や低い場所が分かります。

まず見るところ

敷地境界と前面道路を見つけましょう。敷地の角を一つ覚えておくと、同じ敷地の土地利用計画図や造成計画図で位置を照らし合わせやすくなります。

土地利用計画図

敷地をどう使うかを見る



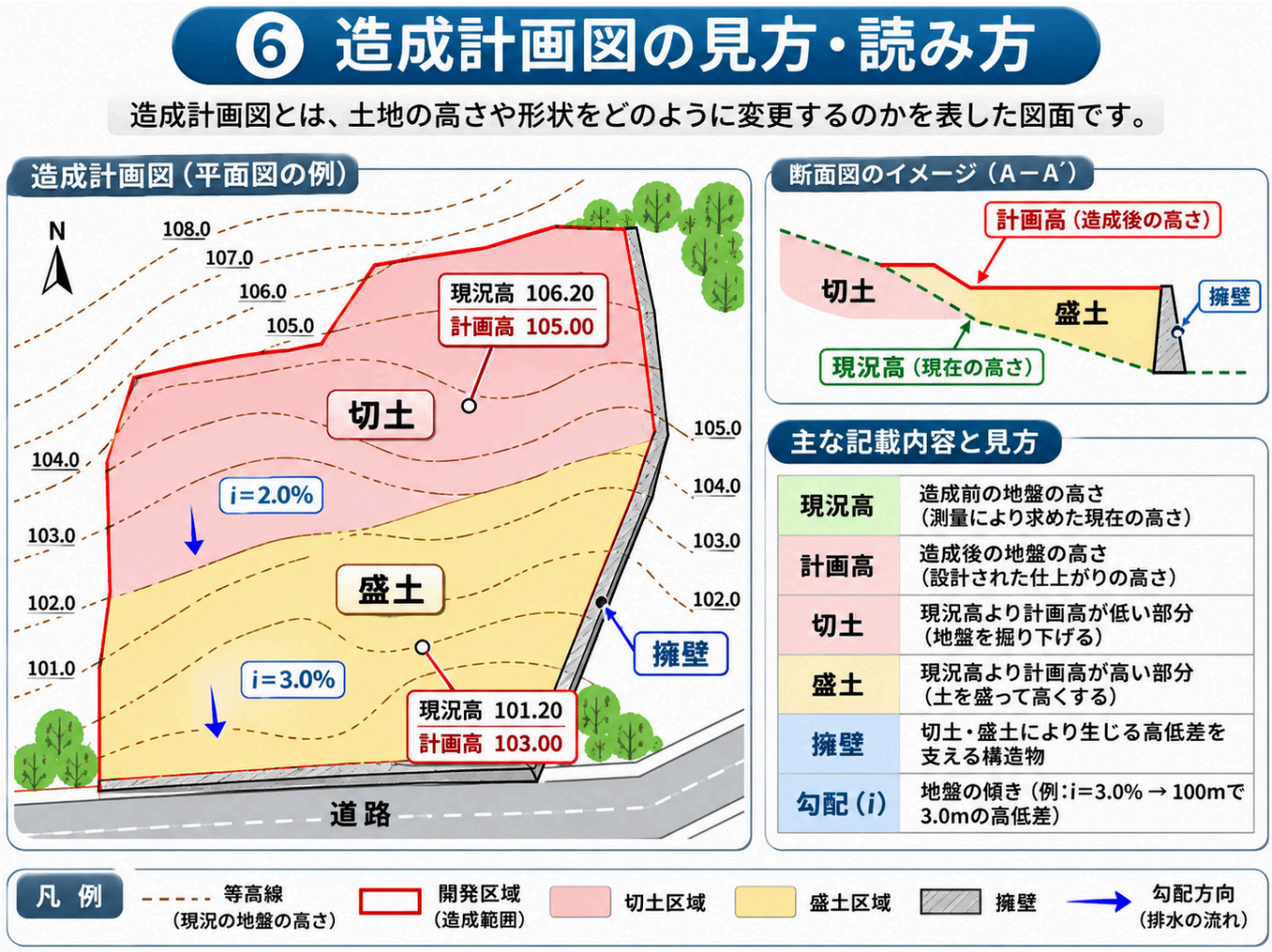
土地利用計画図は、計画後の敷地をどのように使うかを示します。建物の予定位置、区画、通路、駐車場、出入口など、図に示された配置を確認しましょう。

まず見るところ

計画区域の範囲と、前面道路から敷地へ入る位置を確認します。色や線の種類で用途が分けられていれば、凡例を見て、どこに何を配置する計画かを読み取ります。

造成計画図

土地の高さをどう変えるかを見る



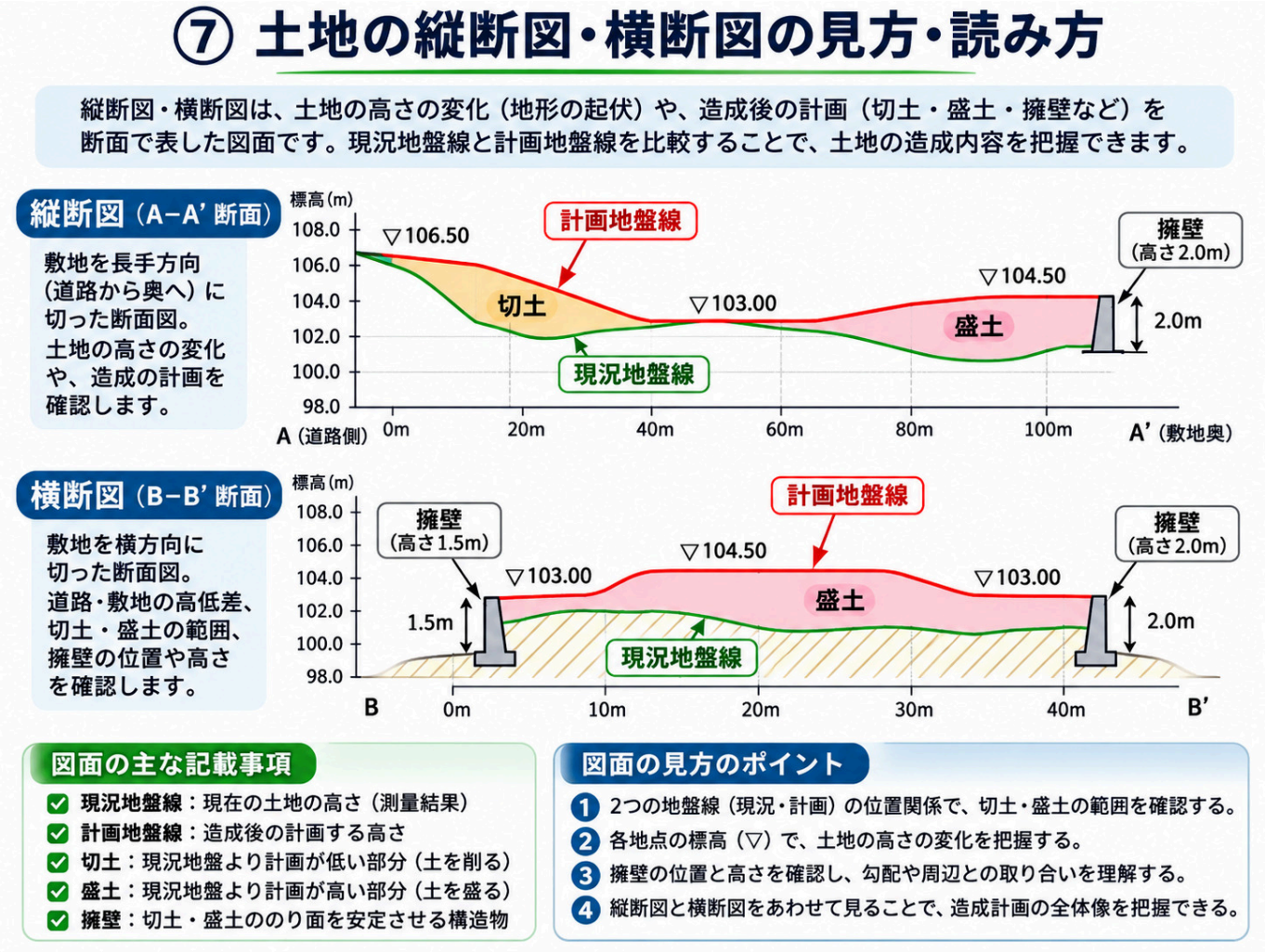
造成計画図は、工事後の地盤の高さや、切土・盛土などを示します。地盤を削って低くすることを「切土」、土を盛って高くすることを「盛土」といいます。

まず見るところ

現況高と計画高を、同じ位置・同じ高さの基準で比べます。道路との接点や敷地境界付近に注目し、断面位置が示されていれば対応する断面図も見ましょう。

縦断図・横断図

土地の高低差を横から見る



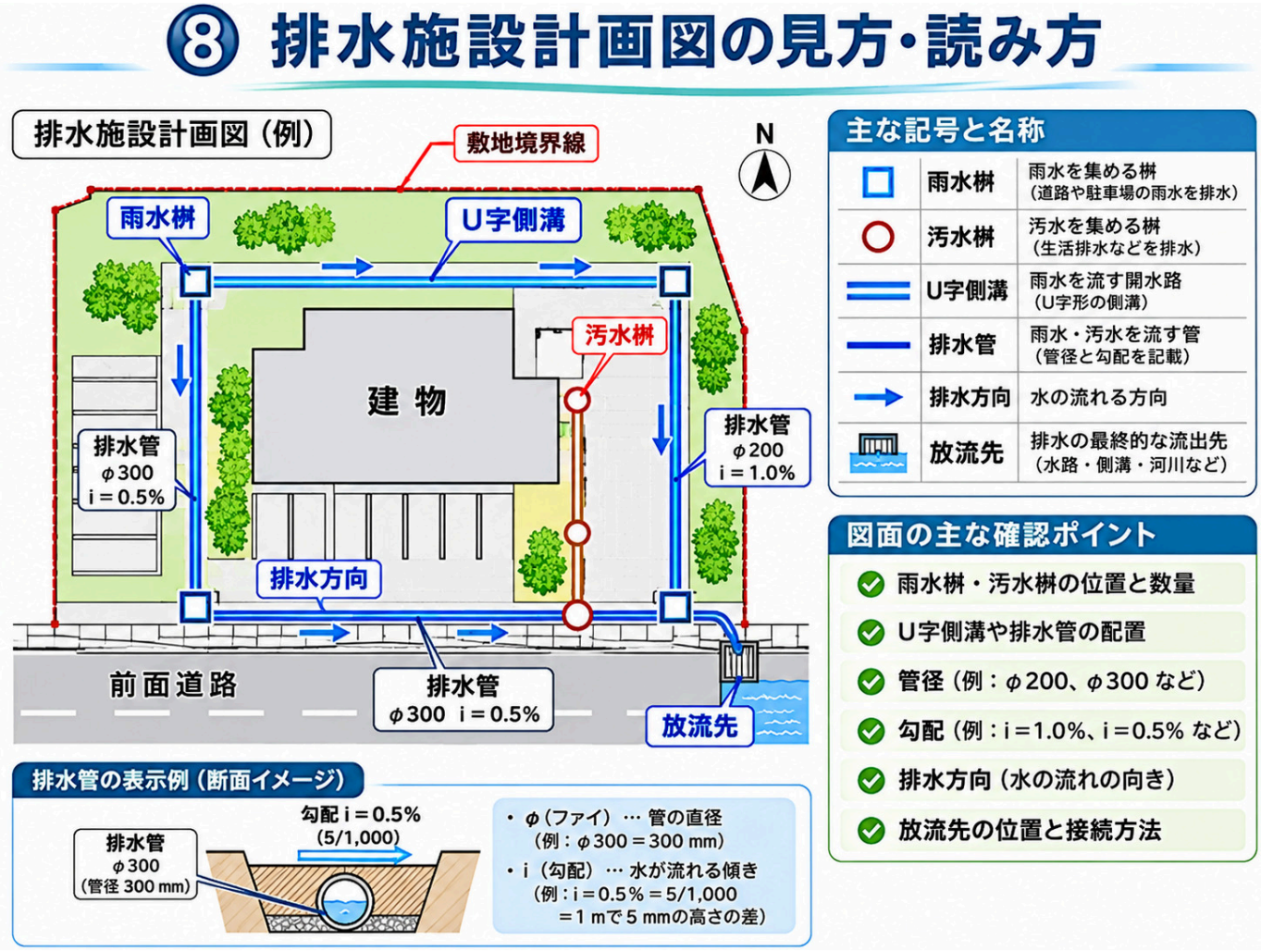
縦断図は道路や敷地などの主な方向に沿った高さの変化を示します。横断図は、その方向を横切る位置で切った断面を示し、道路との段差や法面・擁壁の位置関係を読むのに役立ちます。

まず見るところ

平面図で断面の位置と向きを確認し、同じ記号の断面図を開きます。現況地盤線と計画地盤線を見分けましょう。縦と横で縮尺が異なる図では、高低差や勾配は記載された数値を確認します。

排水施設計画図

雨水がどこへ流れるかを追う



排水施設計画図は、敷地内の水をどこで集め、何を通して、どこへ流す計画かを示します。雨水の経路を一つ選び、側溝・桝・排水管をつないで放流先までたどってみましょう。

まず見るところ

凡例、流れを示す矢印、放流先を確認します。雨水と汚水が両方描かれている場合は、線の色や種類を凡例で確かめ、それぞれの経路を追います。

同じ場所を、別の図面でも探す

前面道路と敷地が接する場所を一つ選び、手元の図面で見比べてみましょう。

1 **現況平面図を見る**

道路と敷地の境界を探し、既存の出入口や側溝の位置を確認します。

2 **土地利用計画図で照らし合わせる**

計画後の出入口がどこにあるかを確認します。

3 **造成計画図と断面図で高さを見る**

道路と敷地の高さがどうつながる計画かを読み取ります。

4 **排水施設計画図で流れを追う**

出入口付近の側溝や桝を探し、雨水の経路を確認します。

Jw_cadで作図も学びたい方へ

CDIキャリアスクールの行政書士向け土木CAD実務講座では、平面図・縦断図・横断図などの読み方から、CADを使った作図へ進みます。

行政書士向け土木CAD実務講座を見る